

〈報道発表資料〉

企画財政部
アセットマネジメント推進課
担当 課長 宇田川
直通 048-951-2334
E-mail:chosha-seibi@city.yashio.lg.jp



八潮市新庁舎がZEB Ready 認証を取得

八潮市では、新庁舎整備に向けた取り組みを進めていますが、このたび、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）^{ベルス} ※1による5段階評価の最高ランクを獲得し、ZEB Ready^{ゼブ レディー} ※2 認証を令和3年8月25日に取得しました。

^{ゼブ レディー} ZEB Ready 認証を取得した庁舎は、埼玉県内で初^{※3}となります。

本市の新庁舎整備事業は、現在の庁舎（昭和46年竣工）が、耐震診断を実施した結果、震度6、7の大地震が発生した場合、倒壊又は崩壊の危険性が高いと判断されたため、調査検討の結果、建替えにより早期の耐震性を図ると決定されたことを契機としています。

新庁舎の整備にあたっては、『「共生・協働」「安全・安心」をまちづくりの基本とし、「住みやすさナンバー1のまち 八潮」を実現するための拠点とする。』ことを基本理念とし、5つの基本方針を定めています。その基本方針の中には、「まちづくりや災害時の拠点となる、安全・安心な庁舎」「機能的で働きやすく、環境にやさしい庁舎」が掲げられ、災害時には防災拠点として市の統括的防災活動を確実にできる庁舎であるとともに、平時から周辺環境と連携・調和し、環境負荷低減に配慮した省エネルギーで環境にやさしい庁舎とするため、太陽光発電や地中熱等の再生可能エネルギーを積極的に導入することとしていました。

また保健センターが合築することも本事業の特徴の一つであり、災害や新型インフルエンザ等の危機管理事象の発生時には、医療救護活動の拠点として災害対策本部等と連動した体制で取り組む計画としていました。

これらを踏まえ、基本設計及び実施設計を担当した株式会社石本建築事務所（東京都千代田区）は、「光や風の自然エネルギーや雨水を可能な限り活用し、自然環境が豊かな市の気候風土に配慮した環境にやさしい庁舎」とし、ZEB Ready を目指すことをコンセプトに掲げ、計画を進めてきました。

新庁舎の環境配慮としては、光・風・雨など自然エネルギーを可能な限り活用し、ライトシェルフ（中庇）やルーバーによる日射遮蔽、クールチューブによる地熱利用、市民活動スペース^{※4} 上部のボイドによる自然採光・自然通風の利用を図ることとしています。再生可能エネルギーとしては太陽光パネルによる太陽光発電、地中熱ヒートポンプによる未利用エネルギー利用空調、省

エネルギー技術としては天井・床・壁を利用した放射冷暖房、タスクアンビエント照明、ヒートポンプ給湯器、全熱交換器組込空調機等を採用します。さらに、BEMS※5 導入によりエネルギーを見える化し、コミッショニング（性能検証）を通して運用改善を図る計画としています。

また、災害対策の中核となるため、免震構造を採用、洪水ハザードマップで想定し得る最大規模の豪雨による利根川の河川氾濫に備え、1階床レベル・外壁をRC造（2階以上をS造）とし、止水板、防水壁を設定しました。またインフラ断絶時も庁舎機能を維持できるよう自家発電設備、太陽光発電設備、蓄電池設備等を導入し、事業継続可能な計画としています。

これらの取組みにより、一次エネルギー消費量の53%削減を実現し、環境省の「二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金（レジリエンス強化型 ZEB 実証事業）」に採択され、市の財政負担軽減も図られることとなりました。

本市は、『「共生・協働」「安全・安心」をまちづくりの基本とし、「住みやすさナンバー1のまち八潮」を実現するための拠点』となる新庁舎を目指し、引き続き、新庁舎整備事業を進めてまいります。

※1 国土交通省が主導する建築物の省エネルギー性能に特化した第三者の認証による建築物省エネルギー性能表示制度

※2 再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物

※3 本市調べ

※4 新庁舎2階中央部分に整備する中庭的な屋外スペース

※5 各種センサーや監視装置、制御装置により空調や照明などのエネルギー使用状況を可視化し、これらの設備機器の稼働を自動で制御するもの



BELS による ZEB Ready の認定証書



北西からの新庁舎全景イメージ

○建築概要

	新庁舎棟	新東棟
主要用途	庁舎	庁舎(施設管理事務所・公用車車庫)
規模	地上4階	地上2階
構造形式	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、免震構造	鉄筋コンクリート造
建築物の高さ	21.543m	7.35m
建築面積	4,601.93㎡	182.87㎡
延床面積	14,711.61㎡	343.94㎡
	合計：15,055.55㎡(※)	

※上記他、駐輪場やバス停屋根あり

○設計 株式会社石本建築事務所（東京都千代田区）

○施工 建築工事・南側外構工事：清水建設株式会社 関東支店（埼玉県さいたま市）

電気設備工事：恒栄・大広特定建設工事共同企業体

代表構成員 恒栄電設株式会社 埼玉出張所（埼玉県川口市）

その他構成員 株式会社大広電気（埼玉県八潮市）

機械設備工事：新菱冷熱工業株式会社 関東支店（埼玉県さいたま市）

○今後の予定

令和3年10月 ・新庁舎建設工事着工

令和5年10月頃 ・竣工

令和6年1月 ・新庁舎オープン